

高等部 修了式

本日（3月17日（金））に、高等部修了式が行われました。

校長先生が代表生徒に修了証書を授与しました。

校長先生からは、1年生、2年生それぞれに向けた言葉をいただき、最後に「高等部の生徒として、相馬支援学校の先頭に立って、活気ある、笑顔あふれる学校を作ってください。そして、卒業後の進路に向けて、自分の夢や希望が実現できるように、1日1日を大切にしていってほしい。」との言葉をいただきました。

そして、代表生徒が「1年を振り返って」の発表をしました。



「相馬支援学校に入学して、難しいことばかりだと思っていました。しかし、授業などをやってみると、教科の授業など分かりやすく、すぐに授業に慣れることができました。特に、苦手意識をもっていた体育などのスポーツ系の教科のティーボールでは、コツをつかむと、とても楽しく取り組むことができました。また、ボールを遠くに飛ばすなど自分自身の課題に対して、足の向きやバットの構え方などの解決方法を工夫することで少しずつ、うまくなったと実感しました。さらに、保健体育等の授業を通して、運動の楽しさを知り、サッカー部に入部しました。サッカー部では、試合や練習を行い、仲間との協力が大事だということも学びました。

次に、職業や作業学習についてです。僕は入学したとき、働くことについて興味が全くありませんでした。授業や現場実習を通して少しずつイメージできるようになってきたので、これからも学習を積み重ねていきたいです。

最後に、2年生になったら、1年生を引っ張っていけるように、サポートしていきたいと思います。そして、自分自身と向き合い、苦手なことを克服していけるように努力します。



生徒の発表は、「教科での学びで考えたこと」、「自分のキャリア発達に向き合ったこと」、「自分自身の困難さを改善・克服していくこと」等に、主体的に向き合う、生徒の1年間の学びが詰まった素晴らしい振り返りを発表してくれました。

他の生徒からも

「知らないことを知ることができて、楽しい1年だった。」

「2年生になったら、できることをどんどん増やして行きたいです。」

「3年生になったら、後輩達を引っ張って行きたいです。」

等、次の学年に向けて目標や希望をもって取り組んでいこうとする声が聞かれました。



この1年間、コロナ禍ということもあり、様々な行事や学習活動が縮小されたり、中止になったりしました。制限された中ではありましたが、生徒達は着実に学習を積み重ね、自己を見つめ、将来の社会生活に向けて、一步一步進んでいます。

4月からは、新型コロナウイルス感染症による制限も緩和され、学校でも「当たり前の日常」が戻ってきます。これまでできなかった行事や学習活動を通して、さらに大きく成長していくことを期待します。

また、4月に元気に会いましょう。

（高等部主事）